

高機能携帯電話(スマートフォン)やスマホなどに関心を持つ中高生が増えている。ただ、購入したものの使い方が分からないで困っている人も、事前相談しよめるが、価値観が異なる。

「講座の前を載せて、そっと動かして見よう」

昨年11月、東京・自由が丘のカルチャーセンターで開かれた「中卒生のためのスマホワークショップ」。「男女が入り交ぜられ、スマホを使って、指定画面を操作しなさい、画面で文字入力

スマホ選び 事前に試して

をこなす。指定の画面内や写真撮影が試された。

スマホは通信費とメールだけで済む。インターネットの機能を併用する。利用者がソフトウェアを通じていろいろな機能を追加した。69は、「様々な機能があってもいいので、いろいろな機能を追加したいと思う。」「スマホ向けのパソコン教室などを受けてきた。『老若男女歓迎』の講座(講座料5千円)は、『スマホは、使いこなせばそれはスマホの味方になる。インターネットが手軽に使われるので、医療や介護などの情報を得るのに便利』と話す。

教材

教材は、シニアが初めて使う入門的な内容と進級版もある。KDDI(au)のM1良A C日(30分)は、「シンプルモード」を収録。「電話」「メール」「ウェブ」など分かりやすく、またおられる画面に設定できる。ソフトバンクモバイルも、



分かります。画面のシリアルナンバーフォンの8桁を販売。Nttドコモの「ウィートンリス P-112C」は、スマホに向かって利用したい機能を話しかけたいだけで操作画面を起動できる。「一回りサイズが大きく、画面が広すぎない、ギャラクシータワーもある。

近藤さんには、トトロのエリアイフォンも、お薦めと操作。使用者が多いため画面と操作を教えるのがしやすいからだ。

スマホは、高齢者には操作が難しい面もある。携帯電話が

慣れないタッチ操作 戸惑いも



体験教室でスマートフォンの使い方を学ぶ参加者。声を収録しながら文字を入力する方法などを試した(東京都目黒区の「よみうりカルチャー自由が丘」で)

■スマホの購入前に知っておきたいこと
 ①携帯電話に比べ、電池の持ちが悪い
 ②携帯電話と同様に、端末の代金と通信回線の使用料金とは別々の契約
 ③電源を入れているだけで、ソフトウェアの自動更新などのデータ通信が行われている
 ④高齢者の場合、連絡以外のメールやインターネット利用によるデータ通信の料金が、携帯電話を使ったときより高額になることが多い
 ⑤端末以外の商品とのセット販売やキャッシュバックなどのキャンペーンに感われない
 (東京都消費生活総合センターの消費生活相談員、金藤博子さんの話から)

ボタン操作なのに押し、液晶画面にタッチして操作するため、使いたい機能と注目の機能をタッチして起動させてしまうなど、思うように操作できないことも多い。

基本的な操作を教えるのに、販売店でも直接教えてもらうほか、教室でも活用したい。Nttドコモ(011-011-8000-0000)は、開催状況を電話で問い合わせることで、カルチャーセンターで教室を開いて

いるところもあり、老若く研究會も教室を予定。また、シニアSDO日付及甘ロシ(三麗)東京でもスマホの使い方教室を企画している。

スマホの契約を迷うトラブルも増えている。東京都消費生活総合センターでは、「購入前」必ず店頭などで試した端末を使ってみよよう。利用の目的を明確にした上で、使用料や料金プランを検討し「こと前記し